

# ダメ出しじゃない よりよいものを目指す修正作業 報・連・相の新ルール

コーチングのスキルは日々の仕事をブラッシュアップ。次のリーダーを目指すM's読者に、必須の知識だ。前回の「仕事の指示の仕方」に続き、今回は「進捗状況の確認」がテーマだ。

別して確認すること。事実とは、全体の何パーセントできているか、何ができて、何ができていないのか。

そして、本人が今、感じていることを聞き出そう。もっとこうしたいという意欲や、新しいアイデアが出るかも示れない。また、不満から、改善案が生まれることも。中間報告・確認はダメ出しでなく、よりよいものにしていくための、修正作業であると考えたい。

まずは、確認するタイミング。期限まで、ほったらかしは、ありえない。日々の仕事ぶりを見て声をかけるもよし、あらかじめ、仕事の指示をしたときに、中間報告の日を設定しておいてもいい。

また、重要なことは、ラフルが起ころっていないかの確認である。仕事に予期せぬトラブルはつきもの。部下の立場からは、トラブルやミスは言い出しにくいことが多い。日々、様子を

見ておき、小さな違和感を感じたときは、ひと声かけておくことが大切。いざというとき、おれは聞いてない」と、叫ばずにすむには、普段からのコミュニケーションで、報告は、言ってもいい。

また、重要なことは、ラフルが起ころっていないかの確認である。仕事に予期せぬトラブルはつきもの。部下の立場からは、トラブルやミスは言い出しにくいことが多い。日々、様子を

見ておき、小さな違和感を感じたときは、ひと声かけておくことが大切。いざというとき、おれは聞いてない」と、叫ばずにすむには、普段からのコミュニケーションで、報告は、言ってもいい。

また、重要なことは、ラフルが起ころっていないかの確認である。仕事に予期せぬトラブルはつきもの。部下の立場からは、トラブルやミスは言い出しにくいことが多い。日々、様子を

また、重要なことは、ラフルが起ころっていないかの確認である。仕事に予期せぬトラブルはつきもの。部下の立場からは、トラブルやミスは言い出しにくいことが多い。日々、様子を

また、重要なことは、ラフルが起ころっていないかの確認である。仕事に予期せぬトラブルはつきもの。部下の立場からは、トラブルやミスは言い出しにくいことが多い。日々、様子を

また、重要なことは、ラフルが起ころっていないかの確認である。仕事に予期せぬトラブルはつきもの。部下の立場からは、トラブルやミスは言い出しにくいことが多い。日々、様子を

また、重要なことは、ラフルが起ころっていないかの確認である。仕事に予期せぬトラブルはつきもの。部下の立場からは、トラブルやミスは言い出しにくいことが多い。日々、様子を

また、重要なことは、ラフルが起ころっていないかの確認である。仕事に予期せぬトラブルはつきもの。部下の立場からは、トラブルやミスは言い出しにくいことが多い。日々、様子を

また、重要なことは、ラフルが起ころっていないかの確認である。仕事に予期せぬトラブルはつきもの。部下の立場からは、トラブルやミスは言い出しにくいことが多い。日々、様子を

## Sachiko's eye

価値観が多様化する今、以前のよう「部下は上司の背中を見て学ぶ」ということは、少ないと考えた方がよさそう。情報受信は発信量に比例するもの。自ら進んで、語りかけることを心がけましょう。企業再生を引き受けた女性社長も、「報告は上司から」の垣根を超えたコミュニケーションを実践しています。



Our Coach 奥山幸子

国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ、米国NLP協会認定NLP™トレーナー資格所有。日本コーチ協会大阪チャプター副代表。ビジネスコーチング、コーチング研修を中心に活躍中。HP = コーチ・アイエヌジー <http://www.coach-ing.com>